

よって たかって ゆんたく

3

第5次名護市総合計画策定プロジェクト



2019年4月23日(火)
18:30-21:00



名護市民会館
中ホール

よってたかってゆんたく 3 開催しました！



名護市をこれからどんなまちにしていきたいか、よってたかって楽しく語り合う第3回「よってたかってゆんたく」を4月に名護市民会館中ホールで開催しました。これまで各地区で話し合ってきた「地区の未来」について発表し、よりよくするためのアイデアや、地区外の人と連携してできそうなアイデアについて、多くの市民の方に参加いただき語り合いました。

よってかたってゆんたくとは

「よってかたってゆんたく」は、市民のみなさんが地域や名護市の未来を考え話し合っていくための場で、これまで11月と2月に市内の各地区でワークショップを開催し地区の未来について話し合ってきました。第1回では理想の地区の未来を実現する取組について話し合い、第2回では、多くの人が集まる場所で、多くの人の地区への想いを集めるとともに、各地区で取組を実現するためのアイデアを出し合いました。



第1回よってかたってゆんたく



第2回よってかたってゆんたく (カフェイベント・ワークショップ)



第3回よってかたってゆんたくについて

ワークショッププログラム

- 1 はじめに
- 2 第5次名護市総合計画策定プロジェクトについて
- 3 各地区で話し合ってきた「地区の未来」の発表
- 4 山崎亮講演「わたしたちの未来と計画づくり」
- 5 各地区ブースで意見交換
- 6 各ブースで話し合った内容の共有
- 7 おわりに



第3回よってかたってゆんたくの流れ



各地区で話し合ってきた地区のビジョンについて発表しました



各地区の「地区の未来」を聞いた感想を参加者同士で共有しました。



studio-L 山崎より、これからの時代の総合計画のあり方について講演を行いました。



参加者は、自分の住んでいる地区以外に関心のある各地区のブースに分かれ話し合いました。



地区の未来について、連携してできそうなことや、さらに良くするアイデアを出し合いました。



各地区で出たアイデアについて発表を行いました。

名護地区



人・まち・自然 いいとこどり 名護



中心市街地の活性化、伝統の継承、医療と教育の連携といった課題に取り組み、生活を支える都市機能がそろってつつも、名護湾、緑ゆたかな山々などの豊かな自然や、地域に根付いた芸能文化を大切にする、いつの時代も「いいとこどり」の名護を目指します。

屋部地区



カコを探る・イマを創る・ミライを拓く 七色スパイラル ～屋部ってる？屋部ってる！～



なんでも屋部のことを知っていたり、愛していたり、新しいコトをおこしている人をひっくるめて「屋部ってる」と表現しています。また、10年後に向けて過去を大事に、今を私たちでつくり、未来へ向かって新しい風をおこしていこう、挑戦していこうという「破っている」という意味をもたせています。

羽地地区



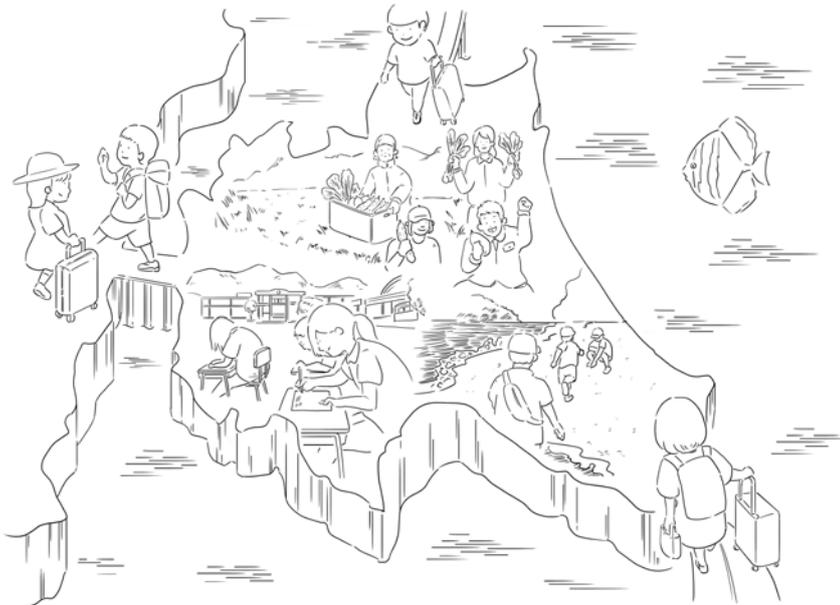
シチマンタル

～羽ばたけ地域の宝物 つながりで育む地元愛～



「シチマンタル」は羽地に住んでいる人は皆が知っているキャッチコピーで「さあみんなでやろう」という意味を持ちます。地域に暮らす人が地域の宝物を知り、それを内外に発信していきます。さらに人と人とのつながりの中で地元が大好きだという気持ちを育てていけたら良いという想いを込めています。

屋我地地区



子供たちの未来や

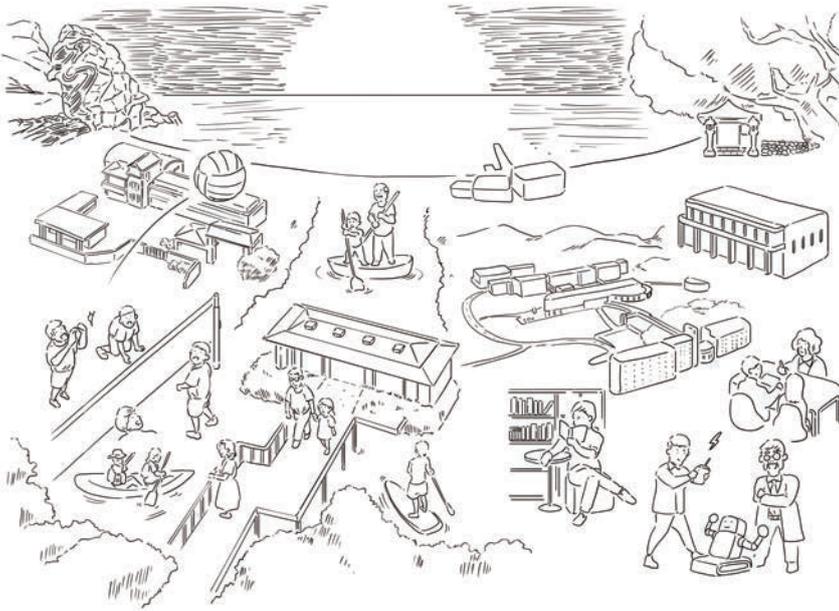
人と自然の懸け橋となる島

～島の自然の中でそれぞれの暮らし方～



小中一貫校である屋我地ひるぎ学園には他の地域から子どもたちが集まっています。また、豊かな自然を求めて移住者も集まってきます。自然と繋がって、1人1人が豊かに暮らし、個人を尊重しながら、他の地域の人たちや、様々な人を受け入れられる懸け橋となる島を目指していきます。

久志地区



日昇るまち ～久志から輝く明るいミライ



名護市で唯一東海岸に面し最初に朝日が昇るのが久志地区です。朝日という言葉からは、はじまり、輝き、希望といった前向きな言葉を連想させます。自然に恵まれた久志地区に暮らす人は地域に誇りと愛着をもっています。久志地区が先頭となって名護市のこれから 50 年をつくっていくという想いを込めました。

講演



studio-L代表の山崎亮より、これまでの市民参加の変遷や、これからの時代の市民参加のあり方をふまえ、これからの時代の総合計画づくりにおいて大切になる視点について、講演をしました。

市民参加の変遷

市民参加は1945年から段階的に始まっていきました。1945年からの戦後民主主義、1970年前後の反対運動、1995年からのボランティアと25年周期で進化をとげています。次の市民参加4.0は2020年、この進化はシェアというキーワードがあげられます。市民参加4.0の事も意識しながら計画づくりをすることが必要です。



つながりで地域のことを考える

高齢化した集落は18歳まではある程度の人がありますが、18歳で地域を出てしまい、そこから上の年代の人がとても少なく60歳以上が多くなります。一方、集落に住んでいる人の家系図を描いたとき約3-4割の人が30分で集落に戻ってこられる場所、さらに90分以内には7-8割の人が住んでいるそうです。

また、インターネットなどで個人の周りにいろいろな関係の人たちがつながっていて、必ずしも同じ地域に住んでいるわけではありません。沖縄県内、あるいは日本や世界の他のエリアとつながって何かをすることは可能です。取組を実現する上で、その地域に住んでいなくてもできることがあります。多くの人とつながって、その地域できることを考えていくことが大切になってきます。

意見交換

地区ごとにブースを設け、参加者は興味のあるブースにわかれ、地区間や市外との連携のアイデアや地区の未来をよりよくするためのアイデアを出し合いました。



名護地区



地区の未来についてや連携のアイデア

- 宿泊施設や大きな施設をつくるのではなくて人の動きが魅力にあるのでそれを活かす
- 地域のみなさんが楽しんでいる場に誘導できるような施設があると良い
- 飲むだけではなく集まって何かするような、夜間楽しめるところがあると良い
- 地域外から来た人が体を休められるような場所、例えばあいた時間にシャワーに入るとか休憩したりとかそういった場所があると良い
- 目の前にあるものを少し工夫するだけで、いいところ取りをしながら未来に向けて発展していけるのではないかと

屋部地区



地区の未来についてや連携のアイデア

- 7つの区のうち、宇茂佐と屋部以外の5つの区が少子高齢化に向かっている
- 屋部区でパワースポットとして屋部寺があるので、そこを整備してグッズ開発をやってはどうか
- SNSなどで、若い人材が発信しガイドできる形が必要ではないかと
- 久志のわんさか大浦パークのような団体組織があれば、観光やビジネスが具体的にできるようになるのではないかと
- 名護市街に15分で行ける地域なので、区概念を外して地区外の子や孫と連携したり、外のアイデアを取り入れたりしていきたい

羽地地区



地区の未来についてや連携のアイデア

- ・地域福祉、高齢者世帯との助け合いが大切になってくる
- ・羽地の魅力の情報発信が足りない
 - 羽地小中前のバス停を魅力の発信に活用できないか
- ・内外に情報発信することにプラスでビジネスモデルも考えるといい
- ・ホテルの生育場所、ビオトープなどをつくる
- ・田んぼや川で子どもを安全に遊ばせられる環境づくりをする
- ・羽地米+屋我地の塩=日本一おいしいおにぎりをつくる
- ・羽地ダム鯉のぼり祭りでシャトルバス、久志地域と連携する

屋我地地区



地区の未来についてや連携のアイデア

- ・マングローブを活用した観光地としての利用、東村、大浦、屋我地をつなぐガイド
- ・週末泊まれる家があれば農業人口の増加にもつながる
- ・スポーツ合宿団体の宿泊所などがあればとても良い
- ・移住希望者多いのはチャンスなので将来像実現をコミットしてくれる人を選択的に受け入れ、地元の人とコラボできる仕掛けがあると良いと思う。
- ・空き家をお年寄りの筋力アップトレーニングなどで活用できないか
- ・星空を活用したイベントなどがあればとてもいい

久志地区



地区の未来についてや連携のアイデア

- ・わんさか中心に住民中心のイベントしていて楽しい。もっと情報発信を！
- ・不便さを楽しむ、自然がたくさんで素晴らしい地域、それを活かす
- ・農地のために家やカフェができないのが残念
- ・イメージや方向性はとてもいいので、誰が？何を？どのように？を具体化していくといいと思った
- ・民間は人手不足なので人材交流などが必要、わんさか、カヌチャ、福祉施設等
- ・水耕栽培をコンテナでやる(安定した収入)、でも農業を子どもたちに体験させることも重要

おわりに

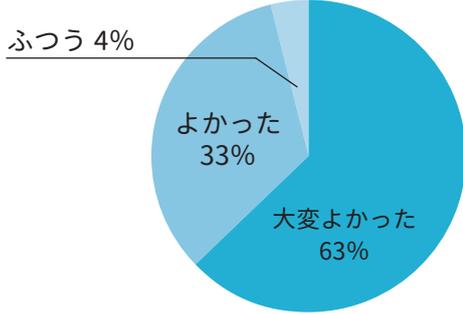
みなさん今日はどうもありがとうございました。

最後にお伝えしておきたいことは、参加いただいている市民のみなさんも、市役所職員も仕事ではない時間で総合計画策定プロジェクトに参加しています。できる力を少しずつ寄せ合ってこの計画をつくっています。



ふりかえりアンケート

Q よってたかってゆんたくの感想を教えてください



Q よってたかってゆんたくで一番印象に残っていること

- ・市民参加 4.0 について
- ・5 地区ごとにテーマがあって共通しているところもある
- ・みんな地域のことを考えているんだなと感じた
- ・それぞれの地区を担当している職員のいきごみがすごいと思った

Q 各地区の「地区の未来」について一緒に取り組みたいことや関心のあるテーマ

- ・子どもの育成、自然体験（山歩き、シュノーケル）、学習支援
- ・地域福祉をテーマとして考えたい
- ・名護の中の食の多様性
- ・地域の資源を活用した取組
- ・観光と地域のつながり

Q 第5次名護市総合計画策定プロジェクトについて期待することや気になること

- ・もっと老若男女が参加して欲しい
- ・地域の人々が主人公である地域づくり
- ・名護全体が生きあふれる街になってほしい
- ・地域外の方が計画について関わる事ができるオープンさはこれからも維持して欲しい
- ・今後もプロジェクトに参加したい

今後のスケジュール

第5次名護市総合計画策定プロジェクト



- | | |
|------------------------------|--|
| 名護ゆんたく
(5/20(月)市民会館中ホール) | 久志ゆんたく
(5/21(火)久志支所ホール 5/22(水)豊原公民館ホール) |
| 屋我地ゆんたく
(5/21(火)屋我地支所ホール) | 屋部ゆんたく
(5/23(木)屋部公民館ホール) |
| | 羽地ゆんたく
(5/24(金)羽地支所ホール) |

平成30年度 (2018)

平成31年度 (2019)

2020年度～

第1回
11月

第2回
1～2月

どんなふりかえり地域で暮らしていきたいイメージしたり話し合うから地域の10年後やその先の将来像を考えていきます。

第1回で話した地域の将来像についてさらに多くの人のイメージを加えたり意見交換してブラッシュアップします。

みんなで描いた地域の将来像を実現するための取り組みを考えていきます。そして、さらに多くの市民に計画を知ってもらい、取り組みを広げて行くためのしくみを考えていきます。

計画の
スタート

地域の将来像を実現するために行政と市民と一緒に取り組んでいきます。

studio-L

studio-L (スタジオエル) は、代表の山崎亮が2005年に設立。地域の課題を地域に住むひとたちが解決するコミュニティデザインに携わる。これまでに、海士町総合復興計画、瀬戸内しまのわなど、まちづくりのワークショップや住民参画の総合計画づくりなどに携わっている。<http://www.studio-l.jp>

問い合わせ

名護市地域政策部企画情報課企画調整係 担当:比嘉
e-mail:kikakujouhou@city.nago.lg.jp

今後の予定や最新情報は「よってたかってゆんたくFacebookページ」にて発信しています。Facebookで「よってたかってゆんたく」で検索!
URL: <https://goo.gl/8bnWRD>